

合同現地地点検の実施報告

国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所
沼津河川国道事務所
浜松河川国道事務所

合同現地点検

①令和5年度 合同現地点検の実施

現地点検概要

日時

令和5年12月6日（水）13:00～

現地点検箇所

- (1) 浜松市 南区 飯田町地区
（ゾーン30プラス箇所）
- (2) 磐田市 大泉町地区
（ゾーン30プラス箇所）

現地点検参加者

- 埼玉大学大学院教授
- 静岡県警
- 国土交通省
 - 静岡国道事務所
 - 沼津河川国道事務所
 - 浜松河川国道事務所
- 静岡県
- 静岡市
- 浜松市
- 磐田市

現地点検行程及び現地点検風景

現地点検箇所概要の説明
（交通状況・事故状況等）



現地点検の実施



意見交換



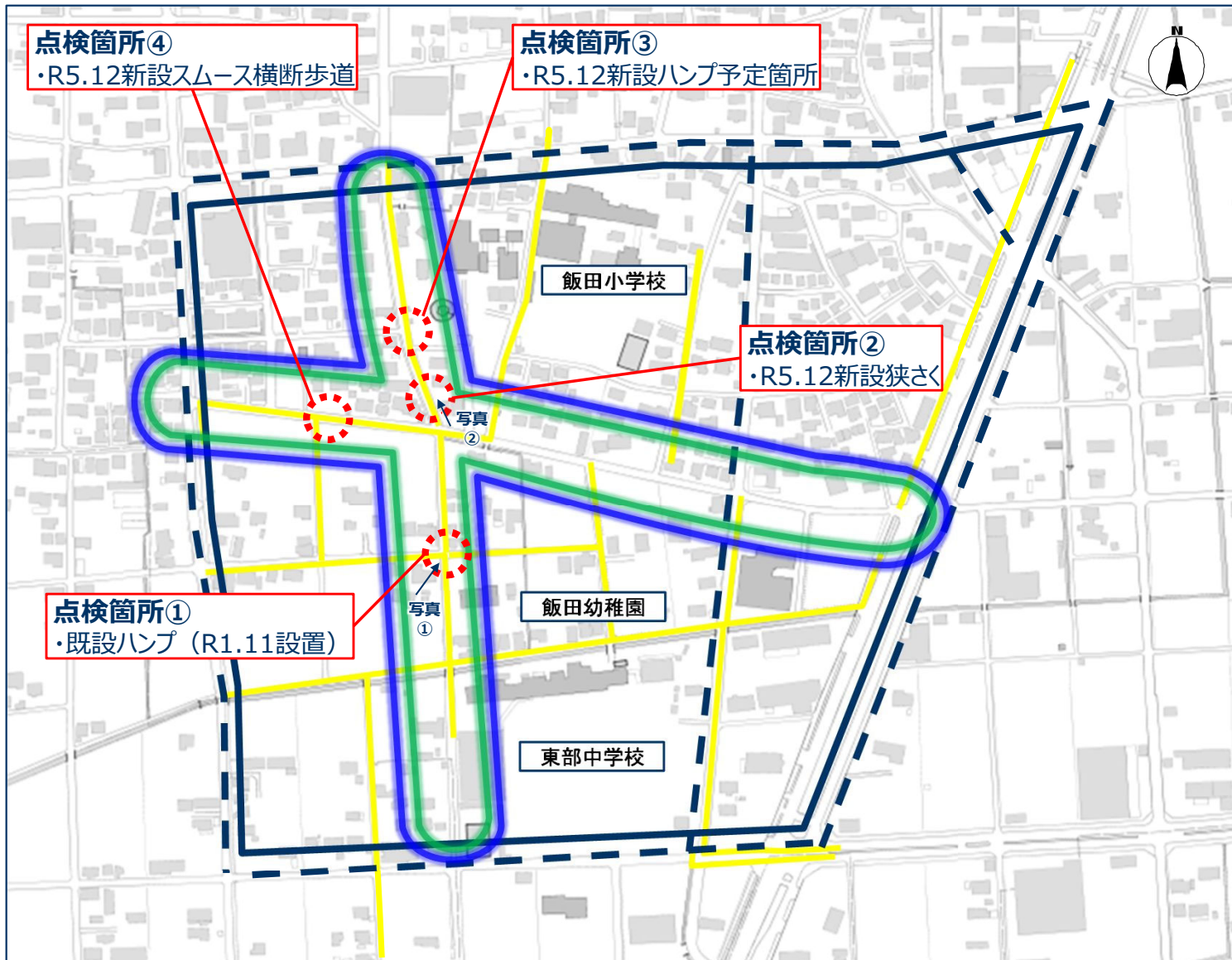
講評



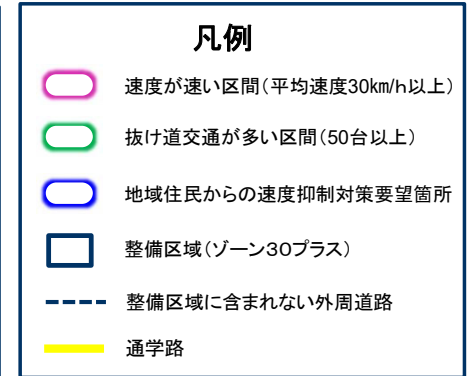
合同現地点検

②浜松市 南区 飯田町地区（ゾーン30プラス箇所）

■合同現地点検 箇所概要



■ETC2.0分析による交通課題箇所の把握



【ETC2.0走行履歴データ】： R1年10月



合同現地点検

②浜松市 南区 飯田町地区（ゾーン30プラス箇所）

合同現地点検 講評より

当該エリア全体に関する意見

静岡県警：新設で狭さを設置する箇所の南側に、区画線で車線を絞っている箇所があるがそこに対してポストコーン等の物理的デバイスは設置しないのか。

浜松市：検討は実施したが、乗り入れの関係で設置は難しいと判断した。

浜松国道：抜け道が多い南北路線（市道飯田56号線）について、東部中学校正門前の横断歩道にスムーズ横断歩道を設ける対策は出来ないのか。エリアに入ってすぐの横断歩道であるため、効果的なのではないか。

浜松市：設置出来たら効果が高いと思う。地元との検討会のなかでも東部中学校前の横断歩道にスムーズ横断歩道を設ける提案があったが、自治会長より『南北路線（市道飯田56号線）に対して物理的デバイスを複数設ける必要はないのではないかと。今回追加対策であるハンプと狭さく設置後の効果を見ながら、必要に応じてスムーズ横断歩道設置の検討をしていくことはいかがか。』とご意見をいただいた。北側の飯田幼稚園前の横断歩道も同様の理由である。

浜松国道：承知した。

静岡県：自治体から、地元からの反対意見や予算についてゾーン30プラス推進への課題として考えていると聞いている。苦労した点等について、教えていただきたい。

浜松市：地元関係者を集めて、対策検討会を開催した。関係者が多く、取りまとめや意見の集約に苦労した。良かった点は、地元の方は取組みに関して協力的だった。

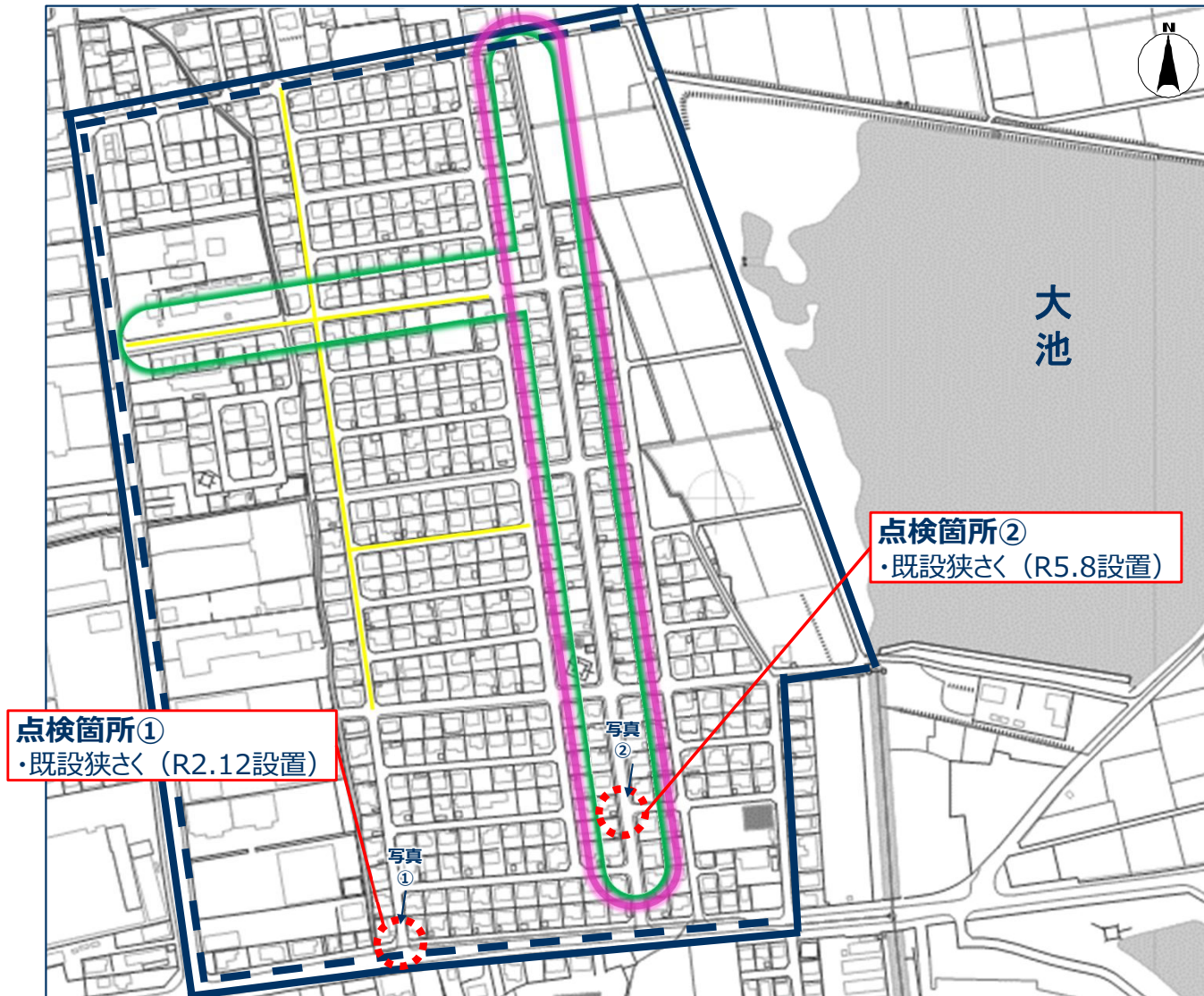
久保田教授による総評

- ・浜松市飯田サービス市民センター北西に位置する交差点の東西方向に、「ここから30km/h」規制標識が設置されているため、ゾーン30プラスのエリアが分割されているようにも見える。ゾーン30プラスのエリアが一体に見えるよう案内標識の設置位置について検討・整理すべき。
- ・狭さくは車道を狭めることにより譲り合いを期待しているが、新設狭さく設置箇所にて、北進交通が譲った場合、後続車が交差点内に取り残される可能性がある。南進交通に譲らせるように、幅を両側ではなく片側のみ絞ることで、優先・非優先が明確になる。対策後も注意深く経過観察していただきたい。

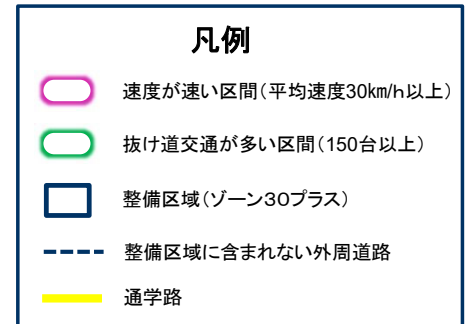
合同現地点検

③磐田市 大泉町地区（ゾーン30プラス箇所）

■合同現地点検 箇所概要



■ETC2.0分析による交通課題箇所の把握



【ETC2.0走行履歴データ】： R3年10月



合同現地地点検

③磐田市 大泉町地区（ゾーン30プラス箇所）

合同現地地点検 講評より

当該エリア全体に関する意見

浜松国道：新設ハンプはエリアの南側へ位置しており、北から来た車両はこの位置まで減速する機会が無い。今後、新設ハンプより北側への連続するハンプ設置等は考えていないのか。

磐田市（元自治会長）：今回設置したハンプの効果や騒音の状況などを確認しつつ、連続での設置も検討し対策箇所を増やしていきたい。海外と比べて生活道路の交通安全対策の進捗が遅れていると感じている。

久保田教授による総評（現地での意見）

- ・海外と比べて生活道路の交通安全対策の進捗が遅れていると感じているが、近年整備が進んできている。
- ・今回点検した南北方向の道路は直線で通過交通が多く感じる。利便性と安全性のバランスを取ることが難しい場合もあるが、安全性が第一優先と考えている。更なる対策などできる事を考えていてもらいたい。